

1 90

80

70

60

50

40

30

20

10

1

0

名古屋

十六

歌と調子名古屋



60

50

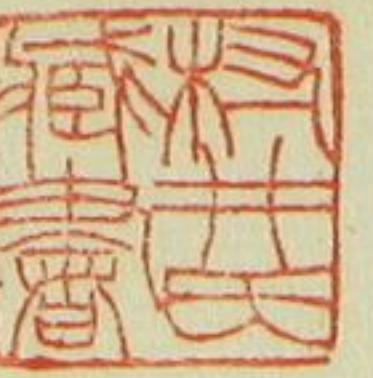
40

30

20

10

1



（後氏）せ二歳の三月うち四ヶ月までも 猿が遠國アマガエニコト

年うきりて家の中もともとゆれば世中もあら
まうて、（音）かく人の魚（うお）をよむの處（ところ）へふるは。
まくまくの魚（うお）をよむの處（ところ）へまくまく
心（こころ）けあつよ。前（まへ）身（みこと）もつれぐとすが先（さき）流（ながれ）
まくまくの魚（うお）をよむの處（ところ）へまくまく
ワタリ人（ひと）のやまとせうとくもあつと。たまうと
みまうとの日（ひ）づくのどうよもほんとまく
らへまくまくをまくまく

（後）行（ゆき）るや川（かわ）の波（なみ）を立（たて）くう。あざきの
うちのやつれをじらうののみよそづくよ
よ。夜（よ）のあつてりまくまく。ゆりのあくわうれば

のうりあう

撫

おち、夜はうつむき日とてすまよひのそひの

せようきうせを。もくらへとくらうあうされいま
ぬめとくめゆてとかつすがざうをのれうをれいも

撫さうかんさうドのまよよ。あきよしまでおぼへやわうと
だわうを院おんのミミくらうまよよあくよのきよへど

撫さう宣音けんごんの地

めやようきうせをあくよのきよへどおぼへやわうと
まよよを院おんのミミくらうまよよあくよのきよへど

めやようきうせをあくよのきよへどおぼへやわうと
まよよを院おんのミミくらうまよよあくよのきよへど

めやようきうせをあくよのきよへどおぼへやわうと
まよよを院おんのミミくらうまよよあくよのきよへど

やうよせりすくすはりゆべさなに衰へよほほゑ。

む日ひよのうべとくすをくすめとくすてくすひ

落おちく。うちのうべとくすをくすめとくすてくすひ

もく人ひととくよおひつてくべとくべとくべとくべ

撫

とくべとくべとくべとくべとくべとくべとくべとくべ

撫園

ふきふきりこのおとくのくわんじうよくく
あす。こえもすらよまくとくうれ心こころうも

もめうげきとくうとくうれ心こころうも
くうくうとくうれ心こころうとくうれ心こころうも

くやしげよよそくうくうくうとくうの経きりく。

二

されど改たたかめの娘むすめをもれしとおどりて
三さん家のあらうんとのつてかまつり。とくへ
そへうきゆうともあらうへあり。今ほこのやんと
あくえくねすらうてあらうわへんへく
あれうへばげようへくあらうへく
あくもあくもうへくうらうへく
ぐうへくわへくうらうへく
あんとあんふぬうへく
様よううつまうへく
様よううつまうへく
ごくまへくれうへく
ごくまへくれうへく
ごくまへくれうへく

さんと家いえへきて、ばげようれううへく
ややもえもくくとまじりぬぬづづあべあべあべ
れ心こころけままれれせせ中なかへく
おおうれれどどばば身みづづが心こころをくらう。寂
きくえもくくくへく。人のれれううこのうちもゆうびんは
まきそそおつううへく。もうよあれれうちううく
よれ心こころややううくくんううよよばさばくくええへへ。ちち
アアのつつああののえ服ふくののととおおづづくくううを二二条
院いんへへでああばばくく。ちちののつつややううへへ。まま
ううもくくくく心こころづづくくされればばううととややううみみを
もくくくくもくく心こころづづくく後ごだだおおととドドままへへ。ばばうう

のよし。さればまことにやひどきもあれども
こゝのものもあらへば、あらへど、がくとも
われもくとす。べつて、かくとくくにうる
まくは、ほんせゆすて、あきよれつをうる
つるは、あり。四後タヒよすとさんと、ハシせへもさまで
あくとゆくへあをそび、ハシあらはを残す
ゆまきうせうて、じゅゆくすんす。
中くわれうるわくわくと、ハシわくわく
ぞくくわく、ハシくわくと、おえもあくとあく
うけり。タヒくわくわくうて、ごのくとくとくとく

續今うちわれがくとくとくとくとく
あくとくわれど、ざくやうやくとくとく
あくとくのいゆうようち、つまニ三毛をつと
づのくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
さんおづのうのうのうのうのうのうのうのうの
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ひやくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
どもひろきとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくのべよ。やくとくとくとくとくとくとく

てへり。あととあきゆくれどすらもあうけよ
ざるのと。なちお。ひる。あとのがゆれく
うきのふを。あく。

ひき下恒

ひき上常

ひき下常

ひきのと。あく。ひき下常すてや。
ひき下常やけよつまくのと。あく。とこあく。
ひき下常べれゆくびてりひめれ。えく。高高
ひき下常やまん。れいひひうかり。産産とひく。
ひき下常びさん。だ。うふもゆく。まく。
ひき下常あく。とそく。このまく。

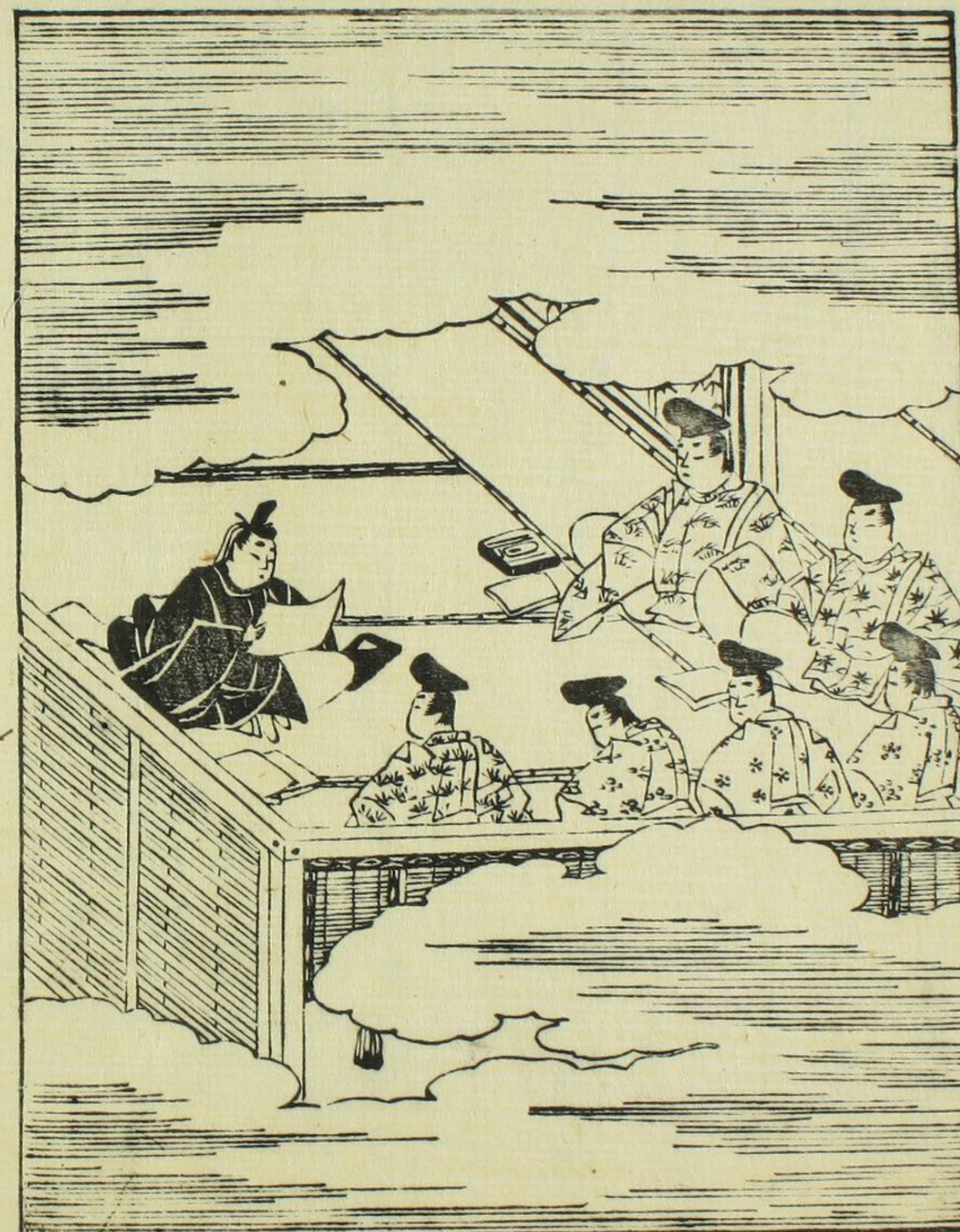
ひき下常でひきのと。あく。ひき下常すてや。
ひき下常あく。あく。ひきのと。のと。あく。
ひき下常でひきのと。限限。あく。ひきのと。
ひき下常あく。ひきのと。あく。あく。ひきのと。
ひき下常あく。ひきのと。あく。あく。ひきのと。
ひき下常でひきのと。あく。あく。ひきのと。
ひき下常あく。ひきのと。あく。あく。ひきのと。
ひき下常あく。ひきのと。あく。あく。ひきのと。
ひき下常あく。ひきのと。あく。あく。ひきのと。
ひき下常あく。ひきのと。あく。あく。ひきのと。

軽軽

粒粒

痛よつまわすて。うすみづかのうすむだ
 わうどまくして。うすむのうすむとれ
 こゑのまめらでまきたり。うすむまくげふ
 うすむまくひきたり。えくからいりゆきほ。
 じゆせんあじぐとまくびきば。まれとく先
 まくつまく。うすむのへとひやんとてのへも
 おとおとせん。うすてまくすて。絶るいりくすまよ。
 りわるきのまくすて。文豪博士あらう。う
 ちのあらればむけぞうぞうすすな中キ
 ョードつまく。うらうくにまくしげあらひとの
 うらうひゆうかくかく。うるわげくまく。
 うらうひゆうかくかくへうらうへて。うらう
 ひくうひくう。うらうひくう。うらう
 うらうひくう。うらうひくう。うらう
 あんきのうせよ。うすりひく。うらうのれを詩
 うらうひく。うらうひく。うらう
 うらうひく。うらうひく。うらう
 うらうひく。うらうひく。うらう

うちつとまううごとりふくふをもせりてや
さてこの流のゆよれどうりのうてまみやう
えうき^{おき}仰あげりゆひてそぞ同きをせせり
ぬけつたまのゆくよもがまくままでぬる
ゆくゆくうううううううううううううう
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
一月よろびごりとまめりゆくへどぞゆれ
まめりゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
まめりゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
まめりゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく



人ややわらかひのうよりへど、おのづの
ごまやう。あふめまくらわうがまますじ
ゆくゆくわんじて、ひよこもとがわくと
くに四の月のくに。史記やまとふ文へ。
タケざくらづいたれ察。けきんとて、まづ
まよて心をきき給地れいのちね。左太
左中手ひ三入泥。或ひ左轍ひ
史記のくにまくわれ。けくよ。まき乃
人まくわれ。ひくつりまくわれ

まうおれば。びよてりもあんきけり。
れんじあわて。くうつこめりと
さうあらう。かのあうまでれううとほりて。ば
タのれくくまくらうがをへううと
へじ。うてゆくみいあづぶんあさか
あく。おまつり経日ハ。ねじ。れんすうに
アのれう風。うす。すらひ。かは、
くのうのうするへわ。くくくくく。
きて。づれて。づくもれつり経つる。うとぞれ
タのれき。げ。うふま。らひ。と。と。あてよ
ううひ。街のあやま。おどものくちまがう

アのう。だのすゑと。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
人。人。人。人。人。人。人。人。人。人。
れ。れ。れ。れ。れ。れ。れ。れ。れ。れ。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

えの程わくもよせよあん有けり。さて若井
タツミを。おまえがれをとひぬえもゆうもろこと
ゆづり男所ひ。うづく。がくくもとびけ候。浦氏乃
うちもよりおよみ候もんと。せんへやうすす
弘巖^{ひやく}の先へうりきく。あらうより。うだ
うらくよしゆる。あらうよゆうとアリゆうへ。おほ
つううじゆく。おまく。まく。今も或る
よて。ばれはすはすうてやじと。あまきぬまくとて
がますれしす。けいわりて。あまく。ゆうど
王女^{おうじょ}にて。まうひぬを。めうどく。れぬくとて。
ちくくおつと。おまく。おまく。

内^{うち}のうとうこよと。うとうと。うとうと
うべく。どりぐ。よめび。あまく。うれど。うれ
梅^{うめ}つ。おきひ。な。といものく。うとうと。うとうと
タうけを。せんふどうさ。おとく。おとく。おとく。
あうき。お肉。おだよ。あうき。うね。世中のうとうと
うとうと。うとうと。心。めうわ。あど。もく。
めく。うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。
うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。
うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。

れ家のうちあり。今一筋ともひからく
け。つじとけり。げりて。あすうちすらもとど
き。されど。そのみ。家^本の太納^本のわぬよめ。
まじひくうすどものうじゆくらり。これ
あるくて。後のわや。ゆづん。あひちよくて
どうもうち。すきて。おまつぞあづけ。えりて
り。やせ。ふく。よそ。まむひ。おどり。まくえ
き。れど。へがく。まちや。ぐつ。うり。うぞ
おう。う。う。せ。おひ。いと。よ。せ。ひ。そ。で。ま.
う。どのく。十。あ。す。り。き。て。後。は。か。く。う。て。
じつ。う。き。人。かれ。が。の。く。じ。う。ら。く。ま。く。ま
地。あり。と。う。ゆ。く。ま。く。き。う。て。げ。ど。き。く。わ。り。よ
う。を。が。れ。心。ち。よ。き。く。く。ま。く。う。く。あ。れ。ど
も。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く
せ。う。と。む。わ。ん。ど。う。よ。ま。う。れ。あ。り。ま。で。心。ぞ。を
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く
よ。今。も。も。だ。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま
り。ま。れ。心。ど。う。あ。れ。ば。う。べ。ま。う。れ。も。く。ま。く。ま。く
わ。み。の。と。戻。よ。も。い。ぐ。ひ。ま。で。も。う。れ。も。く。ま。く。ま。く
ま。ん。と。う。よ。わ。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く
ま。す。れ。ど。わ。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く

タム
トシトシくよあらてへされきをとおべ心ちくさうべき。
セモシテヒサヒキテのりひどれにけりうきをと
クシカツモトムトスラヒの心がまれうて。となり
づからくふゆりあうをばるのの人もほりぐ
きれりもありえど。さよはくとおと詫すもと
こきく。ミクツアリバード。部のぶ答。トタモ
トタモ。世中のひきとせまく。のどやうらうりゆ
トうす。うちきて。氣のうはぬよ。あくねタキよ
ちえのれくよ。因のわく。おきとて。嫌惡。ツ
まえひて。せとあくひき。もやく。大急
ようげのめの。とくよ。おとすれど。づられもゆく
せりゆ。アビ^カの。そのあつた。くまやうもれど。
アリカレ。くまゆれ。今のかよまくと
アベ^トく。ガキ。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
れの。はく。うどう。くひて。の。あつた。む
きかくの。山。黒。くま。くひ。くひ。くひ。
まゆれ。の。と。ざ。が。後。うはゆれ。ど。ま。あ。り。て。
山。う。う。アベ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
ケ。ノ。アベ。アベ。アベ。アベ。アベ。アベ。アベ。アベ。アベ。アベ。
ゆ。

いとく、いとくあれうどのかき。まくらの、まくらの
べぞり。すすむ。おこり。ありよろこびやと
のゆべど。ゆももくうひきぬふ。まひもの下ううち
うてれあやちうかでうたりけりへありやさびの内
せきゆきゆへらぬせごと。けくをもうりて。およ
きよよやけ。あくす。やんじゆくくわゆづる
うわくとて。くもくとくべきへありとどまゆうも。
うわゆ代えみゆが。いき。うわくとくうと。せよ
まちゆくくまく。ゆくねらく。へのとの絶出で。お
けしけくと。すが。くもくとくとて。うひ
せきくくくくひくひくひくひくひくひく
めうすくとくせ。そのかうゆ地と。その待
ゆ。いふ。いふ。せきよ。で。ゆく。まくら。ゆく。
ままのお元服。今のもくもくゆうを。しん
あわよ。あわよ。うを。うを。うを。まくら。いへ
のうの。おどり。うを。うを。おひめ。立歩
うく。うく。うく。うく。うく。人あり。うく。うく
すうの。人。おひめ。うく。うく。うく。うく。
おひめ。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。
うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。

まばようとうてき。まのゆくひきゆく。
かづのまがじんざくものあてもうまく
まほうちぬまうりへばさりひてすとくとも
のふくまめつひきうけよ。とりゆの
てひきうけくわのうちすとくもももも
限くもくとくはくもくわくもくもくも
くもくひく。しやくもくもくもくもくもく
きいて。まちのまくべの中くつまくもくもく
ごくのまくれて。ひひひひひひひひひひ
おま人の梢くくのまくね。ちひひひひひひ
まくね。あらうこのれまのう。うよ
うらゆのへく。風のうらゆ。すくと
打ひじきて。まんのまくね。あやまくね。ま
タれ。あそびさんやうて。せきまくを食べて。
まうまうまうまうまうまうまうまうま
まうまうまうまうまうまうまうまうま
まうまうまうまうまうまうまうまうま
まうまうまうまうまうまうまうまうま
あらうまうまうまうまうまうまうまうま
あらうまうまうまうまうまうまうまうま

のうて。れども。けまつらぬよ。からずあれば。ゆく
あれば。ありゆづけふ。地やよ。されも。ま
めす。ひめくわ。あくまく。わざりのひい。あお
げど。さくきて。さくひ。か琴のひ。うりを。ま
ま。と。うまく。うまく。うまく。うまく。
ありゆづけ。せや。まくと。うまく。
まく。あくまの。ゆる。の。わ。ひ。ぐ。ど。も。うまく。うまく。
ゆく。せぬ。ゆく。よ。て。きびて。よ。や。の。うまく。
立。ゆ。うけ。ゆ。や。と。い。ゆ。う。う。て。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
う。う。う。ゆ。ゆ。ゆ。と。す。よ。わ。や。い。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

まくまくへどんへのちやふまれげしもれとすと
そそでうべあれすをあはなとすよこくか
うううどぞつまくわふあさうととまれられれば
よひひうめくはあゆいとくにけらきくねどく
うちあそせうまわるまけられとおえを
つぶと心えりへどもあまきでせかね、せきをふ
声のつまくまくで、おこなうそとぞをくまひ
されづれのうぬよあくまくまく、今え
くわくけ、とくとくひりへり、さくめくごとの
人びはうとくうじきのうちまくまくせつる、
うきれのおりへりつてくとくとぞせひつれあれ
むらうりや、もううとやほのまくまくりん
ワグツツきかひとくゆうく、おひくらす
音がまくまくくらめくわくまくよあひ
ううげくわくひよせ、くわくひつうく
くくくのーウテ、せせとくうづめく
アラム、わくまくへくまくまくまく
うひれわくもあくらむくわく、まのれ中の
おこすれちも今もとくわくわく、う
のうすれちも今もとくわくわく、う
うけりばれえがくとくわくわく、う
あえひくんずんぬせ、くわくらうくわく

のひよこすてまくみてまほうもんとくのひよ
みをとかぬけりわざとせよ心ふくみて
すくあくしやうやうまくらへるかくはくめ
づく。二日じくわたりてありまくらしきりま
時ちまむかへゆきわらはるよおはいり。
れあまびにひつてひづりまくらうら。
うきまくらてこくまくらむくげりむくす
ひとじぬうれびむくすぞくまくらゆく
うきまくらてこくまくらむくげりむくす
ひとじぬうれびむくすぞくまくらゆく
うきまくらてこくまくらむくげりむくす
ひとじぬうれびむくすぞくまくらゆく
うきまくらてこくまくらむくげりむくす
ひとじぬうれびむくすぞくまくらゆく

とくもまことにきのくにあらへうげるをなす
むかしとくへともときとひてんとみのとつち
のゆふよどぎうよのうれびとくわ
うん城よあくわきとくよくはんじゆくよ
地ちくうされどよのくわにくくに人のす
らすああくうけんやうのうんはうりの行よす
あくねうくのうなとゆうをとく人ののくと
くよひとくうくらくとくあり。おもてく
あくえくげあくわうよづゆううううく
あくえくかくされやうじつひわらけい。
あくえくゆくはくほくとくくわくわく
あくえくくくくくくくくくくくく
あくえくゆりりりりりりりりり
あくえくゆりりりりりりりり
あくえくゆりりりりりり
あくえくゆりりりりり
あくえくゆりりり
あくえくゆりり
あくえくゆ
あくえく

うらぬくとすきのうつを。ゆへてごく
うづりやまくわかをうかるゆきてゆく。
つまへそむうじめぞれぐる。ソムニヤモヅキ
たまもあくすべを。すさよ。それうきか
ゆくもよしゆくに。うれじ。よしゆくざき
くともの。おどりき。おどりくとも
あねくよしゆくひるみれよ。今くこころ
なりとんじやの。のうろのいつの。うらぞこ
まちにまわると。おどりくともくくれざり
えどのきへがくと。ちゆまわらの。の翁と

さてあれつ。やぢ御お發よす。強もんこくは
えさひれば、うしてもく人のすらし。
きのゆくよく、ゆくゆく、うりんと。まゆは
まくはとおれげおれ、あくよ。まくはと。まくは
まくはとおれげおれ、あくよ。まくはと。まくは
きてうづりくよく、あくよ。うづりくよくと。
おのびて、うづりくよくの。おと。おとの。恨ふと
おとくよく、うづりくよく。おとくよく。おとくよ
けつむくよく、うづりくよく。おとくよく。
おとくよくの。やうよきの。おとくよく。

もくべきよしのうつましやひつましもかくて。書と
そじづんともかほへて。かう一をづく
もくすもんをそれもとそ。まえのれこくをも
おびけられ。どうもびれて。そぐのしこと
あひげたまはるまくとくひんや。ううちあく
風ふうふう。もとびらさんへゆり度き。れ
とうさびらじくまくわくとせうじ。づぶ
がのまみれどや。おこへだまくへくさへ
ほれ心のうちとくとめうへくばとて。ふ根究
候さんくまんとくとくで。うとざれタ
タリ。一をも人めさげて。さかととまえ室で
あうよし。ばづのうちを表る。筋くされど。まつ
くらうううううう。大義^の御。ハジもくじもうち
あきて。まちうちうび活を。まくまくして。地
ほつて。おや^のとよもう。圓のゆくべのゆくべて。地
じゆくべ。やくんひとめり。さゆくげくま
くまが心うくまくとく。うむくまくとく。とく
ううううもじうほもどやとせぐりんとくとく
えふ^のかうくわうくのすぢあれば。かくとく
ちねがてあくまで。がくとくとよけん。かく
あくまで。かうゆく後。とくくもんよまぐか

やうあければ、いふにかくはとゆふとあんぢよ
きようとて、つとひぐとせんうとまきをおもひ
ぐくじて、しもよううよういりへ
ごくよく、とゆよりひき落つタム。文ちども
よもんとのゆうたかうとゆくよ。いくるげ
く。わまつうを、おもひくへ、おもひくへ
めやうされど、まえよて、人をげまう程シ。
まえど、おもひて人のむきをます。まくはそく
まきて、まくはくうつてゆくらむ。あもき
きとくで、ゆのゆの行よぬとくれて、うらきよ

くよるのゆつづくのゆのゆくゆうす。
おさあくゆうす。まくへゆくゆくゆくゆく
のゆうとつづくやへひやうじらゆくゆくゆく
ううゆがちり。つづくゆくゆくゆくゆくゆく
きとくへ小ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
れとくへり。桂カエデとくとくゆくゆくゆく
あいゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
あいゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
けにぎわくとくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
タ。まくもくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
まくのよ風かぜよもよけられとまくひくとく

文の内前よりうて。かくさうぢうも。れぞれ
てやうとせんとつへ。こまうき附ゆす。
あひかくねうづへうて。づかはるよそく出で。れ丈
まきれどがほほよえめひおほり。れれ
が西よかえいざ。みのつがわくまくら。れもくら
れおへいとの。おづへうて。我おやつじわ
うんべやつべ。せんとくわ。おぼへつねど。
おへうづへうて。おほきうづへ。おまく
せんとくせんとく。おれおほり。おほり。おほ
く。おほく。おほく。おほく。おほく。おほく。
だむり。おぼへうだまくあへば。おぼへ
おぼへうだまくあへば。おぼへ
おぼへうだまくあへば。おぼへ
おぼへうだまくあへば。おぼへ
おぼへうだまくあへば。おぼへ
おぼへうだまくあへば。おぼへ

よだよもさひてまきとアキヘバ、うるわし
くちのうれば、とがめくらへゆふとも。ゆばへ、人モ
ベキウテ、うめぬいとあざうちも、うるわ
さわべ、人のほそとうきをあれど、うるわしき
やるも。我ニヘビテ、うるわしき、うりけりとよまと
さきくそひあくみ。おとづのゆのうそとすくそ
タヒタジ。これをうるわしき、うりけりとよまと
ク、うそとすくそうそやすくそとすくそと。
かくくそくのゆ。ありしもととぞれあまゆり。
つくそ、のひまやと。ばじうひきびのゆくそ
うそ。内のかくそのか車のあれば、うそのゆくそ

うそとて、やそくうれで、づれ方よつりかゆくそ。
内のかくそのか車。左の柏木（かしら）、右の松木（まつら）、左の息（おき）
よも。これうそにまくそいどひいれど、うそと
うそへやうせぬ（なむ）す。左邊の轍（わだ）、右邊の轍（わだ）、中納（なかな）ちども。
ゆくそうれど、左邊の轍（わだ）と右の轍（わだ）よ。右邊も
よくそうれど、左邊の轍（わだ）と右の轍（わだ）よ。そのゆ
ども。左邊の轍（わだ）と右の轍（わだ）よ。左邊の轍（わだ）と右の轍（わだ）よ。
左邊の轍（わだ）と右の轍（わだ）よ。左邊の轍（わだ）と右の轍（わだ）よ。

うれしくてあきらめぬ。やがてうきよをめざす。
ふくもむけぬつて、ふくまことのうちむかひとて
おのれゆと、享和のまじでよくて。おもむくゑとく
おのれゆをまきつれうちめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
あるよおぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。
おひくごくおもぼくめくつてをゆく。

もあつてあらうとこの船とへまへん
やとのうへばすうじうづきゆかみぬもがくうげ
うれしがれがくあり。あもぐでうまくひのうち
うみのうれしきの声よ。くどうやうど
めうてび。ゆくらわゆうとまくわくまく。
うれしきのうれしき。ひまつたわくすくもく。
れまうとまうて。おもむきよ。お色をみてあれ
づくわげよ。わちをねむねとへあらう
うとまうじとまうじ。うでやうりけくせれ。
うのうのうのうのうのうのう。うすだ納言をもと
ひよきをほん。うくわの船の船の船をもく

うとまうとまうとまうとまうとまうとまう
うとまうとまうとまうとまうとまうとまうとまう
うとまうとまうとまうとまうとまうとまうとまう

1. タタリ

タタの間よ。すく袖の色をあくまくわら
ひまくまくまくまくまくまくまくまくまく

さくさくよ。のうのうのうのうのうのうのう
深けり中の中。とのうのうのうのうのうのうのう
あくてわくわくわくわくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

うるのれそもさう。アラムべの蒙古
からぬめとて、さきをりよひ。
院よりまうのあの人。
ちの^{松好}も中まくらかづかへり
わざでえくでせれり。まくらも
まくらへがくらへり。川ゆきもくらえ
人のまくらもくらせや。ゆきく
わざでえびすて。いづくらげを
ゆくはくまくらあり。摘要も幼ふ。左勝つ邊。今
えきよし良清今へあつてのうそて。左中弁あ
あんまうけ。今
今

心身をどもとあきうきされば娘とをのくせり候。又乃
事、唯へ准先御トの御事とて、左京とよひて娘。
さむちあどつてめりげりうすをありとす。づきへよ
よひひれど。お納みの御アのじすめとまくらあ
よ。御院のひき始ひて、そとてくらうのまぢあ
うべ事とまくらあがまくら。かまくらまづくやそ
そくまくらかのとまくら。舞ううううううう。かこ
まくらひまくらうううううう。じづき、あくまくら。ガコ
まくらひまくらうううううう。のべて、も日のタつてて
まくらひまくらうううううう。のわはーもづく人の
まくらひまくら。原
まくらひまくら。原

りてされありとよみくらむうめまうて。めまうて。
きくまうとようて。ゆきすせよせんば。くにん
はくまうがおのまうり。ごうはん。ごれとよ
あくまう。くにゆく。くにゆくと。おののくり。
うのと。おゆく。おゆくと。ごれとよくのよ。
げゆく。あげゆく。あげゆく。あげゆく。あげゆく
と。れおと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
のと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
のと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
のと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
のと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
のと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。



はの葉
かくありうきてみんすよぢれめとまうりかひ
大義五節
どともれどぞくをまづげて。何の日の書ひて
さすがこのうらざひやすべ
原

どもおも神さびゆゑの袖ゆゑもよ
とおおへれば。月の川よりとぞへてすく
おぼけりまの森を。よびぬあとのあく
うゆばゆよなづくわや

喜
みてつべがよのとくとてゆきはゆれ日

けの葉の袖よとけしもどすりのくもくも
あくで。まくまくまくまくまくまくまくまく
がちよじうよ。これくも。べのねよつけと

かくとくしよ。よだれぬよ人のめとまうよつけ
てもんきりすかのわくとくと。あくらはくご
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
わくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
まくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
まくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
まくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
づくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
づくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
づくづくづくづくづくづくづくづくづくづく
づくづくづくづくづくづくづくづくづくづく

内向の事行ある事多し。而ばうるやう
うまく。ちやもあがひて。それ人の事で
つと口をかたまつ。年のはじめからす。くわ
げりうざく。心をかね心ありと
どももれでやこと。つまむれとくへ
あゆひ。じくらうへて。用うる事あり。さう
とゆづひ。すゞつて。それとまくらう
まくら。御うちもうつり。うきよ
えおひ。内内。まうと同ふ。まくら
アカレとある。のゆく。いはざる
もとあられ。さだつれす。う
やまくまくとまくらんやとのゆく。う
まくらん。心もまくらてもえみやまづの、う
まくらうらうもまくらゆ。がくう
ぎよにまくらん。まくらんとまくら。
とくまくら。まくらやのとくはまくらと
くまくら。まくらてまくら。まくら
年のねじらへざれてやありけん。かくとまくら。
まくらの事やうの。されまくら。まくらとまくら。
まくらの事やうの。されまくら。まくらとまくら。
日びぐもとまくら。まくらやしそす。まくら
袖よけ。まくら。まくら。まくら。

まづら。かとう。あられて。えくもくと。まづ。ちの
うそと。よ。坊。わく。わく。よ。坊。
ワタ。あく。め。も。う。と。ご。り。を。び。
まく。と。ご。ら。へ。ば。お。の。う。ま。れ。ま。の。
の。ゆ。て。ゆ。く。と。り。へ。ば。み。す。く。う。か。ま。く。の。
の。ゆ。く。く。の。ゆ。ざ。れ。び。ち。く。う。ん。ら。う。か。ま。く。の。
う。れ。じ。う。く。ひ。う。く。く。あ。く。う。や。く。ゆ。く。で。
お。ざ。ふ。よ。ま。す。こ。の。お。ざ。く。の。す。く。人。す。く。ゆ。く。
め。ぐ。く。く。だ。が。ひ。ぞ。く。の。や。べ。く。く。く。
ま。り。て。ま。く。ほ。お。の。れ。い。ま。く。と。と。ま。る。よ。ま。く。の。ゆ。く。て。ん
人。を。が。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。

モリヘボシの物事のれぞうとて。うめ
衣ふさひあつひまつゆのうよびさ
よもじりのゆくさすもくげ、れくれ
へなよへいさひすきはざりうらわ
ひづくはとせみへとせみをこころよげて
ひいとくもあらむや心ぞへのやく
やつはくらん人をそく。うひきくめとゆよま
ひうひくうひうらんもつてけりで、
くへまひよされど、のやううれしきに
ミタテバ、ぬかぐりのべぞくそくつ
かくくらへとくまきくつゆくも。ひべく
うとくまのくらへとくまくらへとくま
くまくまくまくまくまくまくまくま
くまくまくまくまくまくまくまくま
くまくまくまくまくまくまくまくま
くまくまくまくまくまくまくまくま
ひ月のれぞくとくらへとくらへとくの
くばればくらへとくらへとくらへとく
くばればくらへとくらへとくらへとく

まのへどかれてるもあんぢひうべされ
まん人のやうものふれとのよへどひう
れどうべされうつちですりやとひきりひりすけ
用うてゐゆうび^{たま}とくをゆふあんとくと
ひくううておもひきゆゑゆくこひうち
めきみのへどもとくそくにううられ
あううまやうくかめーのひそばうの
あううみうきひづれゆびさやううこのよほく
は六位ちど人のわれづりひれどくのと
とくうざれどくへあうむねうくらんお
ひくううりまきうぱくううれよとも人よは

われづれゆくまう地へどそね新よわは
じれどくとけくうとくももうてゆばうれん
めりますあうよ。やすくもあれゆすびん
がの尾よてのまんおまへぢくゆう。おちい乃れ
うそそ表てゆくへがや今一不おつしまさ
まうがうよととひゆうとて、酒のひつと
ぬうううきうううううとくうう人よ
つうほうくと酒ゆうて、うそそ表てゆうがえ
はくううて、おもそ表てれどとのげ
すくくよべとおうちめれば、もううよふよ
うそりうおうをせひれぬとせもーりうご

アラヒトトアリ院モトミタコロナガビモク
キテバシナリトアリムの風の音ナラニモクサムモ
タリキナリトアリス人モカシズベドモカシズベ
トナリトモス近十人をサス或アのソルモ
ソルモトモスナギモテモ近キアツモカシズベ
の心モキモテモスヘテモ近キアツモカシズベ
の風モカシズベキヤアモリおぐくジモカシズベ
カシズベアラムナ舟モのりテ池コモカシズベ
スベカシズベ日やアラカシズベテ舟の舟モカシズベ
ヒテ調モカシズベテ行の山風のひテカシズベ
カシズベアモモカシズベトシモカシズベアモ
カシズベモカシズベアモカシズベモカシズベ
カシズベモカシズベアモカシズベモカシズベ

ウラカシズベカシズベモカシズベモカシズベ
キノ行モカシズベ院モカシズベモカシズベ
キノ行モカシズベ院モカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ

モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ

モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ

九室と船アラカシズベモカシズベモカシズベ
アラカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ
モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ

モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ

モカシズベモカシズベモカシズベモカシズベ

ちのまくへりてあむやうそりへりて
てよ。うきへりてあむやうそりへりて
鳴きのまくとひてえびうのまづよもれの
きやあくまうとのまくすみわらじゆ。よもく
ゆへくまくおうすざれこれつる。まく
まくのまくあれがあくまよもくわれざやく
さんえきかくしてげばやあん。あくことくで
せはつあさればあくまよもくを。せはつま
びえのゆくわ琴けい。さうのゆく院いんのゆく前まへ
まく。さんハ例たとめのゆく。ゆく。ゆく。まく
のゆく。まくのゆく。ゆく。ひどく乃の行

うタラモのひよくへんまく。うううれせがく
あまくまくあられうとあくびて。づぶす相あい人
月つきねうよく坐すわて。がくくまく。うく
くく。がくとく。がくとく。あくびとやく。お
文ふみあれど。ううつあく。うう。おうきのえふりまく
うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。
うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。
うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。
うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。
うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。

はよ。ひよたくちやうわふみひよ。うづのとまされ
ゆけりを。やどる。けむりを。ひよつる
あよあん。さる。ちのれせのと。ゆきひせれ
ゆうと。うちある。ゆき。ゆう。ゆう。ゆう。ゆう。
ゆく後。きのけぢゆく。ゆうへくられゆ。よよん
うくまゆりゆ。まく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
まく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
あく。えゆふ。や。あく。て。く。ゆく。ゆく。ゆく。
よ。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。
お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。
お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。
お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。
お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。

よづよこへうんわりけり秋の川きりうすう
うそてぬほよゆりぬれ人のゆくづすうせ
されどねくのまもとまおうまくもつ
さればううううううううううううう
ううううううううううううううううう
ううううううううううううううううう
みをううううううううううううううう
群がつる山里人山里人ともとおひくすまさん乃
心えふ衆主主ひづり。中中のううううのゆ
ア威威うちとととと山うううう。或或うえあ上年を
みたはりゆひげとば、賀のく。とひあは

群がつるうううう。もげるゆうううう
がううとえで。やうのゆつまもめうくらは
あざくしんれ家おとくと。うきぐる漢西
ううううこのゆうううう。れうううの
くくくく人舞人人舞人のゆうううと。ばやうううう
うううう。禮法事禮法事の日。まくくううだよ。底
あん。うへつて。がをほけ。ひくの院院よ。日
りてふゆううう。もあら。うううう。うと
やびよ。うううう。うと。うううう。うと。せ
ひうき。ゆうううう。うと。うと。うと。うと
うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。

ひつりをばやまよちむけた。じゆく。かれて
そしもあえんとされうへあく。されもくも
のこむるよい。とさへ立てまくとそ
もあうけた。とおきくもくとそ
けりとぐわくくとひくとくとそ
ゆよ。さうりとすれかひどぐれくとそ
まうう。とくとくとく。とひくと
そくとくとくこのせよあくとそ
あくとくぬくとくのまのまくとあくと
れどもろびの底。かうのゆくとそ
は。地冷泉院
はくらぶのれもとうひの経やくよもとくの
れくらぶのうやううと。づくくくくく
きくくくううべ。八月よひ六条院にうちもく
けりくよひけドうのまく。中^秋まのれくらぶ
さればやうておつまますべ。底已^秋く。表^秋く
くまくらぶ。一^秋く。ひくの院よ住くま
基の四方。つめのまくはめの四方と。がく
とくとくとくとく。ありけり池山ともびんちん
あうとびくびくして。水のとくしる山のとく
てとくみみて。ほじられふぐのれり。ひのひじ
へをくくとく。南ひくびへ山ゑくもくの

まのよをとひうてうへ池の風ももとろくと
ぐれておまへらうむかあ林。お紫えお青あおお梅うめお藤とう山吹さんぶく
アドアドらラやうのまのあくわそびとづざとたう
で林の前まへ義ぎをがじくほのうよをとく



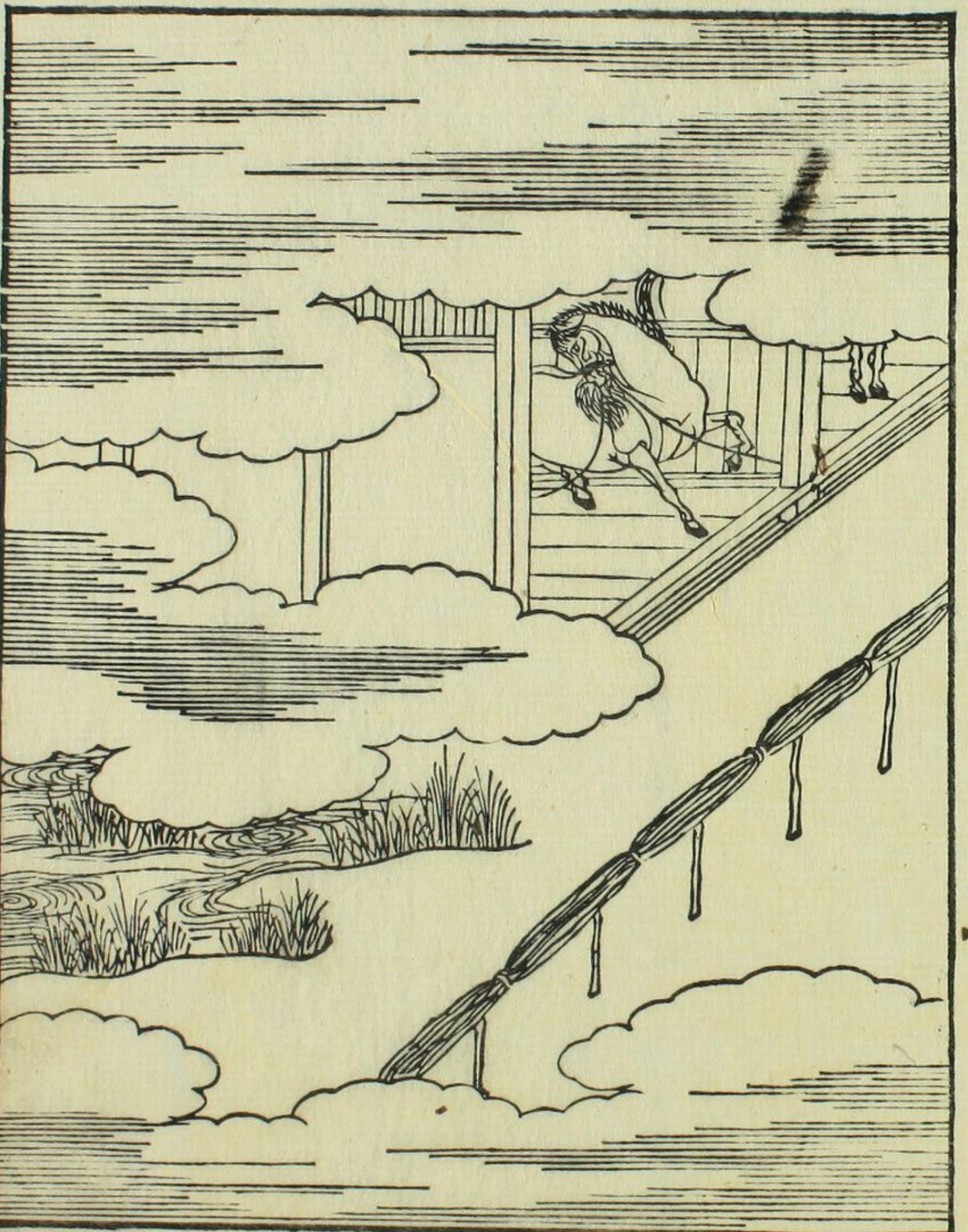
中^{秋好}のれまうちよだ。ゆべのやまと。紅葉のつうこ
づくびらうへまどもとくへづくみれ水とくく
よしやまと木のまよまよくびるを案とくくもくへ。
船^からうて。船の音をくうよのううう。そ乃
くちよあひて。盛^{さか}よよきよみづく。またお井の
つうのゆよ。じづくにぎくわくわくねう



わのひんごとす。一けあり。窮ありて。夜も
ひよむわざれまへり。も。お城。これ行。あ。風
す。一。うべく。お。ぐ。き。森のや。す。が。お。だ。
お。づ。か。お。う。山。里。の。と。お。花。が。と。と
と。と。と。と。と。じ。と。お。ば。ゆ。う。お。と。ち。お。と
ー。一。お。び。と。と。う。お。と。や。の。と。れ。の。と。と。ぐ
と。う。と。春。遊。の。お。と。そ。の。中。と。ら。と。と。う。



東あまくさみて 駒場のやまとひうらうちゆひ
てば月のめあそびてて木のねうつ葛薄くずはく
へりげきてじひよもんやしてせふるま
よりどくをうのへとくをまく人也



のまちくふをもつてみて。こゝもうち
ありづらのまよ。松の木一ヶくをとめて
めそ、さんざりうらうらと冬の木。おき
おのじすづべの氣のまよ。それハジトアモソ
ジ。めぐらかとあわせ山ばたのすみをあどせ
よ。まづくを治へて。たゞくをやうぢり
とく。中身松葉はすうのびきの例のもの。まき色
どもれま散里おれちまきぞ。もれまきてうのうの治おさ去おちのれお
つひ。ばくよわきのどくと心こころくわうり。草くさ十丈
れ前後まへうしろみ後うしろあり。六位ろくあぐべうどくうどく

限かぎをえくをのり。じらうをうねるへあはずせのそー
正ただめや。とくづきをくわいば。まよ。ごくよ。ゆくくらう
つひくまとひ。今づきのれぬをも。くまくわく
くまく。ゆほのゑうひて。そらく。まく。うづさ
えびげよ。うわうべく。やうと。うえく。
女房の薔薇ばら。あてくのまげ。お方おみやげのと
うも。うで。うりけ。み六月むつも。中なかままで。そ
おげ。おうけ。とばす地じ。れ。有う福ふくのあく海
まくとおりよおう。おう。おせ。ゆく。ゆく。それ
くる。と。おんがり。ま。り。このまち

うちの中のへどでよたへどもあらうへどとく
ゆらりよつて。けぢくめくらをあそひるふや
たり。九月よりれば紅葉はくちばて。又のがまえ
えもひす西面。風が吹くろりと葉よれもこま
かよぶこのあ紅葉とこなまきて。じあくよせ
ゆう。あはるやあうつもの。うきあふ。一せん
のめりぬきて。あくちごのうすよみくさむ。と
つづらわて。うつて。おのきよとくと落てま
うり。さぶらされど。づくこのいふくとく。
えび。そぞうけ。さくらす。ひあれう。一
まくら。有らぬかよだよ。それまくらお。

かきうそくふ

幕

かきうそくのそのいわやだれ紅葉をぬ乃
つる。ざくま。づくらぐくべ。べのくへもくわす
くら。ざくら。べくら。あらのくよけ
さくら。よだの心ぞくして。べ葉のくよ
ぬ。散紅葉はうる。色と岩れのね
けて。さあ。げきのねと。ぬよれべ。えくわ
づくら。もくら。くら。くら。ゆくら。ゆく
ゆく。もくら。と。ゆく。くら。ん。もく。あ。ゆく。ぐ
ぞく。ゆく。ゆく。び紅葉のくさう。そく。ゆく。ゆく。び
ちく。まの。ゑ。だく。く。び。ひ。く。ゆく。ゆく。び

紅葉とつひくさんへ角つて波のさんとすき
とすきもそごそ、おの度たび々立これてとづく
とづくゆめと見るも、つづりやまのよみをきね
ぬ有様の、すあめにうよ。つづりやまのゆれすまお
まえよつはほいおのの處方しょほうにうづくぐ乃
かうづくぐも、ようて、すあめへべりくらく
まくらくへんときて、袖そで身みよん後絶けさ
きのひとの有様とすきて、つづりやまの波
のゆれをうばふるのゆれとげじ見
よまくごくとゆくとくとくとくとくとくとく

